

# 伊賀市議会だより

No.75  
2023.11.1

## 行ってみよう 聞いてみよう!



関連記事は 16 ページ

写真左から 河合地域住民自治協議会  
生涯学習支援員 中川雅尋さん  
市民センター事務員 土永里美さん  
市民センター所長 福田直義さん  
会長 奥井平和さん  
事務局長 大森堅志さん

特集 令和4年度決算 税金は効果的に使われたのか?・・・P2～3

### <主な掲載内容>

- 9月定例会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・P4
- 8月緊急会議・10月緊急会議・・・・・・・・P7
- 市政を問う 一般質問・・・・・・・・・・・・P8
- 伊賀市議会タウンミーティング・・・・・・・・P13
- 活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P14
- インタビュー 人と地域がつながってイキイキ活動紹介・・・P16

# 令和4年度決算 キエツク! 税金は

## 質 疑 (分科会)

### 総務分科会

#### 行財政改革の効果は (総務費)

**問** 行財政改革推進費として支出した約160万円に見合った効果はあったのか。

**答** 昨年度は、補助金を出している159の補助事業から25事業を選び、事務事業レビューを行い、行政事務事業評価審査委員会にかけました。審査委員会からの意見を受け、補助金の適正化にかかる指針を見直し、補助金を出す時は個別の要綱を作ることなどを定めたことから、全ての補助金の見直しを行うことにより、行政改革の効果が出てくるものと考えています。

#### 「伝わる」広報を目指して (総務費)

**問** 「広報いが」については紙面が改善されたが、SNS のアクセス数が伸びていない。広報の課題は何か。

**答** 市の重点施策の情報発信が不足していること、デジタル媒体への情報発信が脆弱であること、市民の情報収集の変化に対応できていないことなどの課題があり、わかりやすく確実に伝えることや時短で手軽に見られる情報や市民の興味・関心が高いコンテンツの提供に努めるため、公式 FacebookやYouTubeの改善を図りました。広報に対する職員の意識改革とともに、情報発信力を強化し市民に「伝わる」広報にしていきたいです。



◀伊賀市公式  
YouTube  
「忍者市チャンネル」より



伊賀市Facebook▶

#### 解体工事に民間ノウハウを (民生費)

**問** 共同浴場の解体工事について、民間のノウハウを活用すればより安価になるのではないかと。今までのやり方を安直に踏襲して発注していないか。

**答** 公共施設の解体について、過去にはなかったようなやり方が出てきています。公民連携も含めて、できるだけ効率的で安価な方法を取り入れるよう、職員の意識を変えていくことが必要です。

### 教育民生分科会

#### 給食費無償1月～3月 (教育費)

**問** 学校給食費等負担軽減補助9,131万円についての成果は。

**答** 保護者から「大変ありがたかった」との声を頂戴しています。物価高騰に係る家計支援という面から大変成果のあった事業と考えています。



#### 産後ケア事業32万円利用者負担ゼロ (衛生費)

**問** 母子保健事業の産後ケア事業委託料について、利用者負担はあるのか。またその財源は。

**答** 令和2年度から利用者負担はありません。国から2分の1の補助と、伊賀市子育て支援基金を充当しています。

#### 伊賀市病院事業会計3億3,400万円の黒字 (病院事業会計)

**問** 令和4年度においても黒字決算となっているが、今後の診療収益増に向けた取り組みは。

**答** 開業医や高齢者施設等を訪問し、当院への患者紹介のお願いや、新たな施設基準等を取得することで入院単価を上げることなどについて努力していきます。



# 効果的に使われたのか？

## 産業建設分科会

### 商工業振興経費（商工費）

**問** 産業振興条例を策定した後の取り組み、また、変化したことは。

**答** 広報・ホームページやケーブルテレビで周知してきました。また、商工団体、教育機関、観光物産団体、県や定住自立圏の連携町村に対しては、会合等で周知を行ってきました。今後は、各団体と意見交換の場を設けます。変化として、地元の物品・産品を積極的に使用するようになっていきます。また、伝統工芸等では、事業者の責務として、将来の子どもたちのために事業を継承していくという意識の変化が出てきています。

### 都市計画調査策定等事業（土木費）

**問** 伊賀市の適正な土地利用に関する条例が制定されて約6年経ちますが、市がどのように変化しましたか。

**答** 土地利用のルール作りがこの条例の考え方で、そのルールに基づいて利用していくのが民間業者です。実績や検証を随時行い、次の見直しに反映していきます。ただし、成果については、個々の運用であるので現れにくいです。

### 有収率（水道事業会計）

**問** 有収率は、令和4年度は80.8%です。令和3年度は83.2%で、2.4%減っています。名張市は、約90%です。どこで漏水しているかなどの調査はしていますか。

**答** 漏水箇所を特定するために、配水地別に流量計があります。通常時と異変を感じた時との差を見て、エリアを絞り、衛星を利用した漏水調査を行っていきます。

## 総括質疑（委員会）

### 一般会計

**問** ふるさと納税の歳入・歳出と寄附金控除による住民税減収のバランスの評価は。

**答** 住民税減収分の地方交付税補填も勘案すると実質収支額はプラスで、健全な事業運営になっていると評価します。

**問** ふるさと納税を通しての「関係人口の獲得」についての成果は。

**答** 関係人口の創出が大切と考え、伊賀市のファンづくりのためふるさと納税を通じた各種事業に取り組んでいます。

**問** ふるさと納税制度のあり方が問題になっているが、伊賀市の見解は。

**答** 各種課題はありますが、寄附金によって市民サービスの向上が図れるという視点では、積極的に取り組んでいく必要があると思います。

### 監査委員の意見要旨

一般会計及び特別会計、各企業会計の審査の結果、歳入歳出決算書及び附属書類について、証拠書類のほか関係諸帳簿と照合し、いずれも計数に誤りがなく、正確に処理され、関係法令に準拠して適正に作成されていると認められました。

また、健全化判断比率は国の定める基準を満たしており、堅実な財政運営に努められたと認められます。

歳入については、国際情勢の変化に伴う伊賀市財政への影響が不透明であり、あらゆる手法を用いた財源確保に注力していただきたい。

歳出については、多様化する市民ニーズや地域課題を把握し、的確かつ迅速に対応するとともに、必要な行政サービスを将来にわたって提供していくために、限りある財源や人的資源を最大限に活用し、選択と集中による効率的、効果的な事業執行に努めていただきたい。

（監査委員 鈴木陽介・北山太加視）

## 審議した議案と各議員の賛否（決算）

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 -：近森議員は議長のため採決に入っておりません

件名	賛成：反対	議決結果	北	釜	西	西	濱	増	森	川	北	西	福	宮	桃	山	市	赤	田	上	近	中	百	中		
			山	井	條	田	瀨	田	中	上	森	口	岡	崎	井	下	川	堀	中	田	田	森	谷	上	岡	
市長 提出議案	令和4年度伊賀市一般会計歳入歳出決算の認定	19：1	認	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	令和4年度伊賀市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	19：1	認	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	令和4年度伊賀市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	19：1	認	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	令和4年度伊賀市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	19：1	認	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	令和4年度伊賀市水道事業会計決算の認定	16：4	認	欠	○	×	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	令和4年度伊賀市下水道事業会計決算の認定	16：4	認	欠	○	×	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
<b>全員賛成で認定した議案</b>																										
市長 提出議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度伊賀市住宅新築資金等貸付特別会計歳入歳出決算の認定</li> <li>令和4年度伊賀市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定</li> <li>令和4年度伊賀市サービスエリア特別会計歳入歳出決算の認定</li> <li>令和4年度伊賀市島ヶ原財産区特別会計歳入歳出決算の認定</li> <li>令和4年度伊賀市大山田財産区特別会計歳入歳出決算の認定</li> <li>令和4年度伊賀市病院事業会計決算の認定</li> </ul>																									

9月定例会議における各会議の様子は、市議会ホームページから伊賀市議会チャンネル（YouTube）でご覧いただけます→



### 9月定例会議

9月1日～9月28日（会議期間28日間）  
決算、補正予算及び条例の制定など35件の議案と請願5件を審議

### 伊賀市医師等修学資金貸与条例の制定

全員賛成で  
可決

上野総合市民病院に勤務する医師等の確保を目的に、将来、市民病院において勤務する意志を有する医学生等に対する修学資金貸与制度を新設します。

**質疑**（教育民生常任委員会 9月19日）

**問** 本条例制定の周知方法は、また、修学資金の使い方は決まっているのか。さらに、本条例は長期にわたり施行する予定であるのか。

**答** 市ホームページの特設ページでの周知や、医学生と面談する機会を捉えて周知します。また、修学資金の用途については限定していません。さらに、当病院は年間4人まで臨床研修医を受け入れることができ、本制度を継続的に活用し、より多くの医師を確保したいと考えます。

**問** 条例第6条で保証人を2人立てることとしているが、保証人を必要としないことは検討しなかったのか。また、過去に保証人に対し請求したことがあるのか。

**答** 現行の看護師等に対する修学資金についても保証人を必要としており、返還金が滞る場合を含め検討した結果、保証人を設けることとしました。また、これまで学校中退等により返還に至った事例はあるが、学生の親が保証人となっているケースがほとんどであり、親が負担しています。



### 指定管理者の指定

全員賛成で  
可決

令和5年12月に開館予定の「岸宏子記念伊賀文学館」を指定管理者による管理とするに当たり、指定管理者を指定することについて、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求められたものです。

**質疑**（総務常任委員会 9月14日）

**問** 公益財団法人伊賀市文化都市協会から岸宏子記念伊賀文学館を輝かせる具体的な提案はあったのか。

**答** 伊賀文学振興会と公益財団法人伊賀市文化都市協会とが連携し、お互い協力し合っていくとの話がありました。

**問** 既存の周辺施設と一体的な運営について提案はあったのか。

**答** 観光客や市民が街歩きをする中での一体的な取り組みや、新図書館とも企画連携していく予定です。

## 岩倉峡公園キャンプ場条例の一部改正

全員賛成で

可決

指定管理者を公募するにあたり、健全な競争、新規参入を促すため、指定管理者が行う管理の基準について改めようとするものです。

質疑（産業建設常任委員会 9月15日）

**問** 開設期間の変更理由は。

**答** 冬場はキャンプ場の利用者が少ないということで3月15日から開設としていたが、指定管理者の雇用の関係もあり、月はじめを原則として考え、開設期間を少し長く設定しました。

**問** 開設期間を通年に設定して、指定管理者がいつ開設をするか決めるという条例設定にできないのか。

**答** 基本的に協定に基づいて開設期間を決めていきます。ただし、条例では、あらかじめ市長の承認を得てキャンプ場の開設期間及び使用時間を変更することができるとなっているため、指定管理者の自主事業等で対応することは可能であると考えます。

**問** 利用料金が上がると考えられるが、利用者への周知はどのようにされるのか。

**答** 上限金額が上がることになり、今後、指定管理者と協議のうえ利用料金を設定するので、決定次第ホームページやSNSで幅広く周知をしていきます。



## 令和5年度一般会計補正予算（第5号） 13億6,867万3千円の増

全員賛成で

可決

国の交付金等を活用した物価高騰に係る追加対策のほか、子どもの居場所づくり事業に係る経費や新斎苑整備運営事業に係る経費、中学校の大規模改修工事に係る経費などについて所要額の追加。

### 【歳出の主なもの】

○物価高騰対策事業	
生活困窮者支援団体活動費補助金	250万円
私立保育所等運営支援金	534万円
農業生産緊急支援事業補助金	1,315万9千円
○子どもの居場所づくり事業	
子ども第三の居場所事業費補助金	5,000万円
○新斎苑整備運営事業	
新斎苑直接購入費	3,868万2千円
○施設改修事業	
中学校施設設計業務委託料	538万9千円
中学校施設改修工事費	4億148万4千円

### 【債務負担行為の主なもの】

○文化施設維持管理経費	
岸宏子記念伊賀文学館指定管理料（令和6年度から令和8年度まで）	1,112万5千円

## 令和5年度一般会計補正予算（第6号） 3億6,865万1千円の増

全員賛成で

可決

令和5年6月発生の台風2号及び8月発生の台風7号により被災した農林施設、公共土木施設、教育施設に係る災害復旧経費について所要額の追加。

○災害復旧費	
農林施設災害復旧事業	1億8,342万円
公共土木施設災害復旧事業	1億5,422万3千円
その他公共・公用施設災害復旧事業	3,100万8千円

# 請願

**【請願第15号】** 請願採択後、市長及び上下水道事業管理者に請願に係る対応状況等について報告を求めることとしました。

**【件名】** 伊賀市水道水源保護条例の履行及び三重県との協議と調整を求めること

**【請願者】** 山田地域住民自治協議会 会長 奥 千史 布引地域住民自治協議会 会長 中川 博昭  
 阿波地域住民自治協議会 会長 奥井 威夫 山田地区区長会 会長 東 健一  
 布引地区区長会 会長 福井 敏雄 阿波地区区長会 会長 福路 光宏

**【紹介議員】** 福岡 正康、桃井 弘子、田中 覚

**【請願第16号から第19号】** 4件の請願採択後、それぞれの意見書を国の機関等へ提出する発議が提出され、いずれも全員賛成で可決されました。

**【件名】**

- 義務教育費国庫負担制度の充実を求めること
- 教職員の欠員や不補充を速やかに解消する施策の実行および教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求めること
- 子どもをめぐる貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求めること
- 防災対策の充実を求めること

**【請願者】** 伊賀市PTA連合会 会長 山下 界渡 三重県伊賀市校長会 会長 松田 久司  
 三重県教職員組合伊賀支部 支部長 勝島 大輔

**【紹介議員】** 北森 徹、福岡 正康、宮崎 栄樹、山下 典子、上田 宗久、中岡 久徳

**【意見書提出先】** 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、内閣府特命担当大臣 防災担当（「防災対策の充実を求めること」に関してのみ）



## 審議した議案と各議員の賛否

### 9月定例会会議

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 -：近森議員は議長のため採決に入っていません

件名	賛成	反対	議決結果	北山太加規	釜井敏行	西條工リ子	西田方計	濱瀬達雄	増田雄	森中秀哲	川上善幸	北森徹	西口和成	福岡正康	宮崎栄樹	桃井弘子	山下典子	市川岳人	赤堀久実	田中覚	上田宗久	近森正利	中谷一彦	百上真奈	中岡久徳
市長提出議案 伊賀市放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例の一部改正	18	2	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○

#### 全員賛成で可決（同意・採択を含む）した議案

請願	<ul style="list-style-type: none"> <li>●伊賀市水道水源保護条例の履行及び三重県との協議と調整を求めること</li> <li>●義務教育費国庫負担制度の充実を求めること</li> <li>●教職員の欠員や不補充を速やかに解消する施策の実行および教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求めること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもをめぐる貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求めること</li> <li>●防災対策の充実を求めること</li> </ul>
市長提出議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>●令和5年度伊賀市一般会計補正予算（第5号）</li> <li>●令和5年度伊賀市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）</li> <li>●令和5年度伊賀市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）</li> <li>●令和5年度伊賀市病院事業会計補正予算（第1号）</li> <li>●令和5年度伊賀市水道事業会計補正予算（第2号）</li> <li>●令和5年度伊賀市下水道事業会計補正予算（第1号）</li> <li>●伊賀市医師等修学資金貸与条例の制定</li> <li>●伊賀市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●伊賀市行政サービス巡回車の運行及び管理に関する条例の一部改正</li> <li>●岩倉峡公園キャンプ場条例の一部改正</li> <li>●伊賀市火災予防条例の一部改正</li> <li>●事業契約の変更</li> <li>●指定管理者の指定</li> <li>●令和5年度伊賀市一般会計補正予算（第6号）</li> <li>●人権擁護委員候補者の推薦（川北 和一氏、東 弘久氏、米田 美紀子氏、福本 康代氏）</li> </ul>
議員提出議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>●義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書の提出</li> <li>●教職員の欠員や不補充を速やかに解消する施策の実行及び教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書の提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもをめぐる貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書の提出</li> <li>●防災対策の充実を求める意見書の提出</li> </ul>

小型動力ポンプ付軽積載車の買入れ

全員賛成で  
可決

伊賀市消防団車両更新計画に基づき、配備後23年が経過している消防団車両5台の更新を行うものです。

質疑（産業建設常任委員会 8月17日）

問 現車両の売却方法は。

答 過去に実績のある市内業者を中心に下取り売却を行います。

問 現車両の付属品などの処理については、また、ポンプについてはどう処理するのか。

答 使用できる付属品は取り外し、使えるものは各分団で保管します。ポンプについては、消防署に配備します。



工事請負契約の変更

全員賛成で  
可決

大山田中学校大規模改造工事（建築主体工事）について、屋内運動場の床改修に伴う処分料の追加、管理棟の改修における工法の変更等に伴い請負代金の額の変更及び工期を延長するため、契約を変更しようとするものです。

質疑（教育民生常任委員会 10月17日）

問 当初から変更の予測はできなかったのか。

答 学校の授業を行いながらの工事であり、すべてを確認することは難しい状況であった。また、業者とは2週間に1度工程会議を行っている。

問 変更金額の妥当性は検証しているのか。

答 工程会議のなかで、安全で安価な工程を協議している。

伊賀市議会議員一般選挙を伊賀市長選挙に併せて同時に執行するための措置を講ずる決議

全員賛成で  
可決

伊賀市議会において継続して協議を行ってきた市長と議員の同時選挙について、伊賀市議会議員選挙を伊賀市長選挙に併せて同時に執行するための措置を講ずる決議を全員賛成で可決しました。

（決議文）

平成16年11月1日に1市3町2村が合併して伊賀市が誕生したが、議員在任特例を適用したため、市長選挙後約5か月で市議会議員一般選挙が執行され、今日まで至っている。

少子高齢化や人口減少が進むなか、社会保障等に伴う扶助費の増大、また、公共施設等の老朽化に伴う整備など、限られた財源で行政サービスを継続していくには、行政改革や経費削減が求められるところである。令和2年度に執行された市長選挙と市議会議員一般選挙において、両選挙を同時に執行していた場合、その経費は約3,200万円削減することができたとの試算もある。

また、過去には住民自治協議会から同時選挙に関する請願等が提出されており、昨年度実施した地域意見交換会において、約8割の地域から同時選挙に賛成との意見をいただいている。

よって、住民の要望にこたえ、将来にわたっての経費削減と投票率の向上を図るため、同時選挙を行うべきであると考え、令和7年3月に執行予定の市議会議員一般選挙を令和6年11月に執行予定の市長選挙に併せて同時に執行するための措置を講ずる。

以上、決議する。

令和5年10月17日

伊賀市議会

審議した議案と各議員の賛否

10月緊急会議（10/17）

○：賛成 退：退席 欠：欠席 -：近森議員は議長のため採決に入っていません

件名	賛成 ： 反対	議決結果	北	釜	西	西	濱	増	森	川	北	西	福	宮	桃	山	市	赤	田	上	近	中	百	中
			山	井	條	田	瀨	田	中	上	森	口	岡	崎	井	下	川	堀	中	田	森	谷	上	岡
市長提出議案 工事請負契約の変更	20 : 0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議員提出議案 伊賀市議会議員一般選挙を伊賀市長選挙に併せて同時に執行するための措置を講ずる決議	19 : 0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	退

# 市政を問う

## 一般質問

一般質問は、9月8日、11日、12日の3日間で、15人の議員が市政に対して質問をしました。その主なものを掲載しています。

QRコードからは、各議員の一般質問の動画（YouTube）をご覧ください。

もりなか ひであき  
**森中 秀哲** 議員

### 質問項目

- 災害時「個別避難計画」作成の具体的展開
- 高齢難聴者を含む聴覚障がい者への「情報保障」「社会参加促進」施策



### 問 災害に備え、要介護高齢者・障がい者「個別避難計画」の早期作成を

災害時に支援が必要な人たち一人ひとりに有効な避難計画作成は、市の努力義務です。危険性が高い地域の対象者から、一日も早く作成してください。要支援者全体に避難行動の啓発も進めてください。

### 答 年内に計画作成に着手します

伊賀市社会福祉協議会とともに、福祉専門職や地域の協力を得ながら、各対象者のケアプランをベースにした避難計画を年内から順次、作成します。要支援者全体には、ケアマネジャー等を通じて防災情報の周知を進めます。

### 問 高齢難聴者を含む聴覚障がい者の社会参加を促進するツールの導入を

聴覚障がい者の社会参加の壁が低くなるよう、音声文字変換アプリやディスプレイの導入はできませんか。

### 答 導入を検討中です

アプリは導入済みで、今後広く利用を周知します。お互いの表情を見ながら円滑に意思疎通できるように、音声文字表示する透明ディスプレイ導入も検討中です。



### 問 水道水源保護審議会について

水道水源保護条例は「水源を保護することにより住民の生命及び健康を守ることを目的とする」とあります。産業廃棄物最終処分場建設事業者から市に申請が提出された場合、伊賀市は水道水源保護審議会を設置して答申を出します。

他市の例として廃棄物埋め立て処分場からの汚染物質・教育環境・経済学的見地・地震等の学識経験者等による産業廃棄物施設建設計画影響調査研究会を立ち上げた市もあります。

三重県では10年以上新規の産業廃棄物最終処分場建設はありません。

前回平成29年に開かれた審議会は、条例で定数11名以内のところ5名です。地元の多分野の代表者も委員として選定いただき、市民の生命と健康を全力で守っていただきたい。

### 答 慎重適切に対応します

審議会設置はこれからであるが、津市等其他市の例も十分検討して、慎重適切に対応します。

ふくおか せいこう  
**福岡 正康** 議員

### 質問項目

- 地方自治法に基づく審議会
- 公募型プロポーザル入札の審査委員会
- 伊賀市の公共交通



きたもり とおる  
**北森 徹** 議員

### 質問項目

- 民生委員のなり手不足



### 問 民生委員のなり手不足の見解は

福祉分野のみならず、災害対策、消費者保護、交通事故予防等の幅広い行政機関からの協力依頼が増加しているのが負担増なのではないですか。

### 答 福祉の負担を感じているのも一因

人口減少、高齢化にも要因があるが、住民自治協議会のご協力も頂き、伊賀市では97.75%で比較的高い充足率であるが、地域の福祉課題が複雑・複合化により、民生委員の現場での対応が難しい状況にあります。市、社協、地域コーディネーターが自治協などと連携して欠員が生じない様に啓発しています。

### 問 自助、互助、共助、公助をしっかりと

民生委員だけに頼らず、人と人が繋がることが民生委員の負担軽減になるのではないのでしょうか。

### 答 公の責務は当然

隣近所のおつきあいをしていくのがまず大切であり、隣近所が繋がるシステムに行政がどう側面からサポートできるのか考えていきます。自治会のない地域も存在するが、そういった地域にも啓発していきます。



☆一般質問☆ 本文は、質問議員が執筆し、質問議員の責任において掲載しています。



# 一般質問

いちかわ がくと  
**市川 岳人** 議員

## 質問項目

- 熱中症対策
- 伊賀市の消防力
- 道の駅の活用



## 問 道の駅を一層拡大して活用すべきではないですか

道の駅は1993年に開始され「休憩機能」「情報発信機能」「地域の連携機能」を持ち、現在全国1,209カ所に設置され、年間利用者2億人、年間売上額2,500億円に上ります。

地域の活性化、物産販売の核、防災の拠点という観点から道の駅をリニューアル、充実していくべきと考えます。現行2施設を継続する既存の計画だけではなく、伊賀市全体を俯瞰して再配置していく検討をすべきではないですか。

## 答 現行の2施設の改革から進めます

公共施設最適化計画に基づき2施設の継続を進めており新しい計画はありません。

道の駅あやまは、周辺施設を含め民間活用に向け事業者の公募を進めています。

道の駅いがは、国土交通省・住民等が参画する運営委員会で利活用方法を協議していきます。

道の駅の趣旨や機能、防災の拠点含め伊賀市にお越しいただく方に満足してもらうため民間活力も利用し環境整備に努めています。



## 問 なぜ和解に応じたのか

市は市営住宅の滞納金170万5,300円の支払いを求め、「住んでいない」と主張している元市民に訴訟を起こしましたが、1円も回収できないという内容で和解に応じました。証拠書類に自信があるのならなぜ和解に応じたのですか。

## 答 裁判の長期化を避けるためです

証拠には自信がありますが、裁判の長期化を避けるため和解に応じました。



## 問 次回同和施策審議会で委員の発言を説明する予定は

6月の審議会で、委員から市民が差別的な発言をしたとする報告がありましたが、市はまったく調査をしていません。少なくとも事実関係が不明であることを次回の審議会で説明する必要はありませんか。

## 答 同和施策審議会での内容なので、回答は控えます

同和施策審議会での委員発言の内容に関しては、差別発言かどうかを含め、現在答申に向け審議中であり、独立・自立した合議制の機関である審議会の中で議論し、考えるべきだと判断するためです。

かまい としゆき  
**釜井 敏行** 議員

## 質問項目

- 令和4年11月30日付専決処分
- 同和施策審議会における重大な人権侵害の疑い
- 大阪・関西万博の現状と、伊賀市の関わり



みやざき えいき  
**宮崎 栄樹** 議員

## 質問項目

- 台風7号によるライフラインの寸断
- 青山地域のまちづくり
- スクールバスの柔軟な運用
- 上下水道部における情報漏洩



## 問 台風7号による断水の教訓をどう活かすか

台風の影響による大規模な停電に伴い、青山地域の上津地区、博要地区、高尾地区の一部で断水が発生しました。断水発生後24時間以上経過してから給水車が派遣された地域もあります。今後の対応をうかがいます。

## 答 今後は迅速な対応を行います

停電時のバックアップが十分でない地域には、発電設備のレンタルを含め整備を進めます。また、地域との連絡や協力の体制を強化していきます。

## 問 青山支所跡地整備は全体を見た計画に

跡地整備は、跡地だけでなく青山ホール駐車場や西側のけやき周辺を加えた整備計画にすることで、効率的に駐車場や公園スペースが確保できると考えます。また、青山ホールの車寄せを使いやすくしたり、全体を一体感のあるデザインにできるものと考えますが、見解をうかがいます。

## 答 検討します

西側のけやき周辺の文化的な碑や作品の配置や、使う方の利便性を十分考慮して整備計画を検討していきます。



# 一般質問

にしぐち かずしげ  
**西口 和成** 議員

## 質問項目

- デジタル時代に伊賀市ができること
- 行政内のインシデント
- 伊賀市内の道路網



**問** 蓄積されたインシデント（ヒヤリハット）データを、デジタル自治推進局長は、いかにお考えか

伊賀市のDX実行計画の中にも、オープンデータの推進が明記されています。市民病院、小中学校、保育園・幼稚園で積み上げてきたインシデントデータをデータベース化し、事故防止情報として、役立てる必要があると考えます。

**答** 順次、リスク結果をホームページに掲載していきます

行政内部では、リスクマネジメントを行うために年2回、内部統制を行い、リスクチェックシートとして各部署へ還元される仕組みです。さらに情報共有を進めます。

**問** 保育士の初任者研修を実施すべきだと考えるが

新規採用時がととても肝心と考えます。リスク管理の側面からも実践的なトレーニングのために、保育士の初任者研修を定期的、継続的に行うべきだと考えます。

**答** お問い合わせをいただくまでもなく、常識です。しっかりと担当課が認識し実施します(市長)



**問** みえ森と緑の県民税市町交付金事業第3期に向けて要望を

みえ森と緑の県民税事業の令和6年度からの第3期制度に危険木伐採事業の取り組みを考えていただきたい。

**答** 市が主体となって実施する危険木伐採事業を新規事業として県に要望していきます

集落周辺の森林整備について必要な対策をさらに進めていき、従来からの「みんなの里山整備活動推進事業」の取り組みも継続しつつ、実際に伐採事業を実施する関係部局とも連携を取りながら精査を進めていきます。

**問** 空き店舗の活用を促進するための必要な取り組みは

移住や創業を考える方にとって中心市街地の空き店舗情報が少ない状況です。市としての活性化に向けての取組みを伺います。

**答** 中心市街地活性化協議会のネットワークを活かし空き店舗利活用の促進支援を考えていきます

中心市街地の空き店舗の活用、新規出店による活性化は官民共通の課題です。経済団体や地域、また、行政内でも連携して進めていきます。



さいじょう えりこ  
**西條 エリ子** 議員

## 質問項目

- みえ森と緑の県民税市町交付金事業
- 移住や空き家に関する相談窓口の充実
- 保育所の民営化



ももがみ まな  
**百上 真奈** 議員

## 質問項目

- 生命・財産を守る災害時の対応
- 公共交通通学定期券購入費助成制度
- マイナンバーカードと健康保険証の一体化



**問** 感震ブレーカー設置のための補助制度を

感震ブレーカーは、地震発生時に設定以上の揺れを感知した時に、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具で、地震火災を防ぐ事前の対策として有効とされています。家や地域を守るために感震ブレーカーの設置補助をしてください。

**答** 設置補助を考えます

火災を出さないための貴重な提案です。市として設置補助を考え、家がつながっている地域に可及的速やかに付けることが大事です。

**問** 公共交通通学定期券購入費助成の継続を

昨年度、家計支援として実施した高校生や大学生等の通学定期券購入費助成は、大変好評でした。地域公共交通の利用促進や若者の転出を抑制し、定住のきっかけにするためにも継続してください。

**答** 有効な財源があれば実施したいと考えます

研究は続けますが、ぜひ財源措置もご提案ください。



# 一般質問

あかほり くみ  
**赤堀 久実** 議員

## 質問項目

- 人命救助の現場
- 子育て支援
- 带状疱疹ワクチン接種の助成



## 問 AEDケースの中に三角巾と説明書を入れるお考えは

ある大学の研究グループの調査で、学校の構内で心停止となった生徒に救急隊が到着するまでに、AEDのパッドを装着された割合は、男子83.2%に対して、女子は55.6%と約30%の差がありました。

AEDのパッドは、右胸の上と左の脇腹に直接装着しなければなりませんので、女性に対して抵抗があるとのこと。プライバシー保護のために、三角巾を活用できるようにAEDケースに入れるべきです。そして、三角巾は怪我等の止血にも使用できるので、使用方法が分かる説明書も合わせて入れるお考えはありますか。

## 答 配布していきます

AEDを使用する際、男性女性とも躊躇せずに行っていただきたい。また、救急措置を受ける人のプライバシーが守られるように、公共施設のAEDには三角巾と取扱説明書を配布していきます。



## 問 台風で地区市民センターが停電し、長時間にわたる停電によって出た課題と対応は

## 答 防災倉庫に備蓄した資機材の活用や職員への研修が十分ではなかった

市の防災倉庫には、発動発電機などを備蓄していますが、それらを十分に活用できなかったことが大きな課題です。当該施設の防災マニュアルを見直し、職員への研修などを、これまで以上に内容の濃いものとして行い、役割を十分に発揮できる仕組みや体制をとります。

## 問 青山保健センターの閉鎖について、説明会の開催予定は

## 答 地域での利活用の有無について確認していきます

前回の利用者からの意見として健康づくりのために大切な施設です。特に歩行用のプールがある施設は他にありません。代替案があるのかさまざまな意見を頂きました。このような意見を踏まえて、9月20日に青山住民自治協議会会長連絡会において、地域での利活用の有無を確認し、10月上旬に地域住民の方々に向けての説明会を実施します。

なかたに かずひこ  
**中谷 一彦** 議員

## 質問項目

- 台風7号による被害状況と今後の課題
- 青山保健センター閉鎖についての説明はいつされますか
- 予防接種被害者健康手帳
- 脱炭素社会に向けての取組み



たなか さとる  
**田中 寛** 議員

## 質問項目

- 伊賀をもっと強くするため



## 問 国や県との関係は、上下主従から対等協力へ

市民や地域が主体となり安心安全で快適な市民生活へ導いていくことで、伊賀市はもっと強くなれると確信しました。しかし戦争などの世界情勢、物価高や消費税の負担増など生活は豊かではありません。

## 答 なので、市民のための市政府です

市民の皆さんが主体者意識をお持ちいただくことが民主主義です。また伊賀市の潜在力は、市を中心に100キロ圏内2,400万人が居住しているなど、他の地域より勝っています。

## 問 人口減少の中、余っている上水道は負債か

## 答 資産です。水量を最大限活用します

## 問 取締役会が必要です

## 答 総合政策会議などで、経営者としての視点をもって議論しています

## 問 売却や貸付から生みだした財源は

合併後施設を維持するために、両温泉で約25億円、道の駅あやま周辺で約10億円費やしましたが、その財源の投資先は地域です。

## 答 施策を考え共有します

様々な地域課題解決に、行政経営会議を踏まえ、他部局と連携します。



# 一般質問

やました のりこ  
**山下 典子** 議員

## 質問項目

- 土曜保育
- 通学時の熱中症対策
- 伊賀支所移転後の支所周辺の財産管理
- 鉄道交通



**問** 公立保育所(園)の土曜保育を一日保育に

現在土曜保育の状況は、公立の14施設が半日保育、私立の13施設が一日保育ですが、公立も一日保育にならないでしょうか。

**答** ニーズを把握して対応します

次年度の公立保育所(園)の申込の際に土曜保育一日保育のニーズを把握する中で、適切な方法で対応していきます。

**問** 熱中症対策として通学時に被るヘルメットを通気性の良いものに

**答** 来年度から通気性の良いヘルメットを配布するよう進めます

**問** 駅のバリアフリー対応を

J Rと伊賀鉄道の結節点である伊賀上野駅とJ R関西本線と草津線の結節点である柘植駅にエレベーターを設置すべきでは。

**答** J Rに強く要望していきます

一日の平均乗降客数は伊賀上野駅が458人、柘植駅は222人です。J R西日本では一日の乗降客3,000人以上の駅には2025年までに整備を進める方針です。しかし、伊賀上野駅と柘植駅は重要な駅ですので、駅舎のバリアフリー化等の整備は必要と考えています。



**問** 「医師の働き方改革」について上野総合市民病院の取り組み状況はいかがですか

**答** チーム医療で医師の負担軽減を図ります

「働き方改革関連法」の医師に対する時間外労働の上限規制が来年4月より適用されます。当院はA水準の病院になりますので、各医師の年間の時間外労働を960時間以内に収める必要があります。そのため負担軽減委員会を設置し、「チーム医療の取り組み」と「診療業務の役割分担」を進め診断、治療、手術のコア業務に専念できるように医師の勤務時間の縮減、労働生産性の向上に取り組めます。

**問** コロナの自粛明けを背景に県・伊賀市とも、上半期の刑法犯は21年ぶりに増加傾向にあります。再犯防止をどう考えていますか

**答** 福祉的な観点も重要です

再犯防止のためには、「犯罪や非行した者を孤立させない」を基本理念に、福祉的な観点では特に「就労・住居の確保」、「保険医療・福祉サービスの利用促進」などが重要と考えています。



うえだ のりひさ  
**上田 宗久** 議員

## 質問項目

- 医師の働き方改革
- 犯罪を未然に防ぐ地域の力
- 生涯学習支援員の不正発覚に対する再発防止策



にしだ みちかず  
**西田 方計** 議員

## 質問項目

- 伊賀市防災・情報アプリ「ハザードン」とJアラート(全国瞬時警報システム)
- 関東大震災100年、人権教育や人権啓発
- 図書館による「人づくり」



**問** 普及率8.2%の防災情報アプリ「ハザードン」の周知・活用状況と今後の取組は

**答** 登録者を増やし、地域のしくみとして防災力向上をめざします

地域の防災や情報共有のツールとして周知し、区・自治協等の訓練や学習に位置づけ、来たる災害に備えます。

**問** 100年前の関東大震災での虐殺事件について、外国人比率の高い伊賀市でこそ教訓の継承を

**答** 地域や学校の学習・啓発に活かします

文化や価値観の多様性についての理解を深めるなど、学校教育・社会教育ならびに啓発活動を通して、市民の人権感覚を高めます。

**問** 伊賀市の将来につながる図書館づくりを

900万円の図書購入費、市民の図書利用カードの保有率20%の現実をふまえ、選書方法、広報のあり方等、さらなる工夫を願います。

**答** 図書紹介、市政情報の閲覧、広報等、さらに工夫を重ねていきます



☆一般質問☆ 本文は、質問議員が執筆し、質問議員の責任において掲載しています。

テーマ /

# 若者が住みたいまち

## 伊賀市議会タウンミーティング

10月6日開催

場所：伊賀市役所5階議場・議場ロビー



### タウンミーティングって？

議会と市民が自由に情報・意見交換して、みなさんの声を市政に反映させるものです。

20～30代の伊賀市在住・在勤の35人が8グループに分かれ、各グループに議員も入って、伊賀市に対する熱い思いを意見交換しました。



### 参加者の感想から

市外から伊賀市へ移住した同世代の意見を聞いて、貴重な機会になりました

他の企業の同じ年代の方と意見交換ができて、有意義な時間になりました

意見交換をする時間が短く、伝えたいことをうまく伝えられなかった

交通機関の整備充実や、街灯等の整備により交通事故対策を進めてほしい

**貴重なご意見ありがとうございました。**

市政に参加することの意義や効果を実感していただくいい機会になり、若者ならではの考えや新たな意見を今後の政策提言に役立てたいと考えます。

## 活動報告

### 伊賀市議会議員人権研修

「ITの進化と人権問題について ～変化する社会と情報環境をふまえて～」

7月25日、近畿大学人権問題研究所主任教授 北口末広さんを講師に迎え、人権問題に対する政治リーダーに求められる時代認識と人権意識の向上を図るため研修を実施しました。

研修内容は、IT革命の影響で人権問題はより高度で複雑で重要な問題となったこと、無意識の偏見が社会の事象に影響を与えること、的確な情報対応の重要性など、北口教授の体験を交えての講義でした。今回の研修で市議会議員として情報リテラシーを身に付け、差別意識や偏見と密接に結びつくフェイク情報を見抜く能力、またアンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）を克服する能力を高めていくことが重要であると認識しました。



近畿大学人権問題研究所主任教授  
北口末広さん

### 伊賀城和定住自立圏議会 正副議長意見交換会



7月28日、伊賀市、笠置町、南山城村、山添村の正副議長が集まって、隣接府県を越えた救急医療体制、地域公共交通対策、第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョンについて意見交換をしました。

生活圏を共有する自治体がお互いに協力することで課題を解決し、相乗効果を発揮できるように行政とともに取り組んで行く考えを共有しました。

### にぎわいフェスタでアンケート

8月19日、「市民夏のにぎわいフェスタ」で伊賀市議会広報広聴委員会がブースを出して、議会の広報活動をしました。

炎天下、議会のPRチラシを配布し、市民のみなさんにアンケートのご協力をお願いしました。

#### アンケート結果紹介

あなたが思う「住みたいまち」とは？

- ・都会へのアクセスがよいまち
- ・近くに保育園や小学校、公園があり、子育てがしやすいまち
- ・不自由なく必要なものが手に入る、買い物が便利なまち
- ・病院などの医療が充実したまち
- ・子ども、老人、皆に優しい安心安全なまち



# 令和5年12月定例会会議日程（予定） 会議期間22日間

日	月	火	水	木	金	土
11/26	27	28	29	30	1 本会議 (議案上程等)	2
3	4	5	6	7	8 本会議 (一般質問)	9
10	11 本会議 (一般質問)	12 本会議 (一般質問)	13 各常任委員会 (予算・決算を除く)	14 各常任委員会 (予算・決算を除く)	15 各常任委員会 (予算・決算を除く)	16
17	18 予算常任委員会	19	20	21	22 本会議 (採決等)	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

- ・本会議と予算常任委員会は、午前10時から始まります。その他の各常任委員会は、本会議初日に決定します。
- ・日程は変更になる場合があります。

## ご感想をお寄せください

議会だよりや議会のテレビ放送、YouTube をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

**郵送** 〒518-8501

伊賀市議会事務局

「議会だより感想」宛

**TEL** 0595-22-9687

**E-mail** gikai@city.iga.lg.jp

**FAX** 0595-24-7901

※伊賀市議会だよりの点字版・録音版を希望される場合は、上記までお問い合わせください。

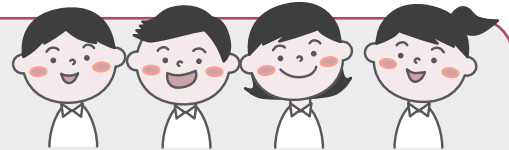


伊賀市議会ホームページ

伊賀市議会

検索

## ようこそ伊賀市議会へ！



9月26日、上野南小学校3年生のみなさんが、市役所見学で議場を訪れました。議長席や市長席に自由に座って議長に質問し、議長が答弁しました。



市議会では、市の将来を担う子どもたちに議会を身近に感じてもらうため、議場見学を積極的に受け入れています。小中学生の社会見学として、普段なかなか見ることのできない議場を訪れてみませんか。

### 編集 後記

私は初めて広報広聴委員になり、にぎわいフェスタでチラシ配布と議会アンケートのお願いに参加しました。ご協力に感謝申し上げます。久しぶりのにぎわいフェスタの開催に猛暑の中たくさんの方々楽しんでおられました。また、バイクパフォーマンスも見ていただき、新スポーツの発展に繋がることを期待します。少ない時間でしたが、聞かせていただいた意見を政策に繋げるように努めてまいります。 (中谷 一彦)

次号は 2024 年 2 月 1 日です

発行：伊賀市議会 編集：伊賀市議会広報広聴委員会

# 人と地域がつながって イキイキ 活動紹介

指定管理者制度を導入した住民自治協議会を紹介するコーナー第2弾。  
今回は、河合地域住民自治協議会取材しました。



## Q：指定管理者制度に取り組んだ理由は？

A：住民自治協議会と地区市民センターは車の両輪のように必要不可欠な存在となっています。指定管理者制度を受けることで住民自治協議会活動が、よりスムーズになると判断しました。

## Q：どんな活動をしていますか？

A：防犯活動として青色パトロール車巡回に取り組んでいます。週3回、地区当番で小中学校の下校を見守り、地域の危険箇所も把握しています。過去にはパトロール中に火事を発見したこともあります。生涯学習活動として今年は地域の菊作り名人の指導で、菊花作りに挑戦しています。また、大人の遠足企画も好評で、行政サービス巡回車とJR関西本線の利用促進を兼ねて、滋賀や京都に出かけました。河合地域には、古墳と城跡が点在しており環境活動として「やぶたの杜散策路」の保守整備もしています。歴史に興味のある方はぜひお越しください。

## Q：指定管理者制度のメリットは？

A：住民自治協議会と地区市民センターが別々に仕事をしていたら、なかなかうまく回っていきません。職員の勤務形態を柔軟に決めることができ、垣根なく助け合いながら、組織全体の仕事が進められることが一番のメリットだと思います。

## Q：指定管理者制度のデメリットは？

A：デメリットとしてあげるとすれば、職員の雇用・労働関係事務が増えたことです。

## Q：今後の方向性は？

A：河合地域には診療所や福祉施設をはじめ小中学校、金融機関、公共施設などの拠点がある一方、少子高齢化が進んでいる中で、高齢者の通院や買い物の手段が問題となっています。地域内にある拠点を有効に利用し、どのようにすれば地域の人達が楽しく、幸せに生活できるかを考え、未来に続く自治協運営を行っていきたいと思います。

